

喜界町 橋梁長寿命化修繕計画

令和6年12月

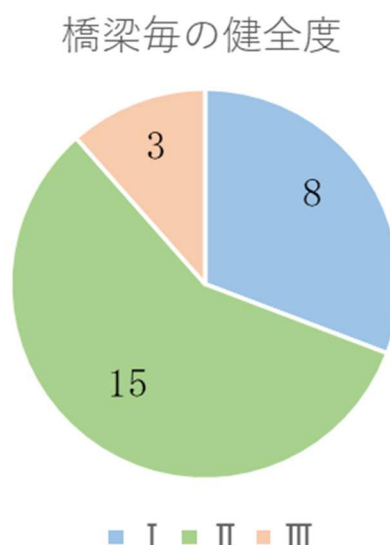
喜界町役場 まちづくり課

1. 長寿命化修繕計画の目的

本修繕計画は、本町が管理する橋梁26橋について、予防的な修繕および計画的な維持管理を行うことで橋梁の長寿命化並びに修繕および架替えに係る費用の縮減を図ることを目的として策定するものです。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁の現状

橋梁構造は、RCラーメン橋（ボックスカルバート）が12橋、RC中実床版橋が14橋です。橋長は、2.1m～6.1mです。RC構造物で、ひびわれ、鉄筋露出等の損傷が確認されています。前回の点検結果より橋梁毎の健全度は、右図に示す通り、対策が不要である健全な橋梁は8橋となっています。



健全度の判定区分

区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、『道路橋定期点検要領（平成31年2月 国土交通省道路局）』に基づいて5年に1回の実施を基本とした定期点検により把握します。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、通常点検（定期パトロール）により橋梁の健全性を確認します。

4. 対策優先順位

対策優先順位は以下の方針により設定します。

- ①橋梁毎の健全度により優先順位を設定します。「Ⅳ→Ⅲ→Ⅱ」
- ②損傷状況を総合的に判断して優先順位を設定します。
- ③橋梁の重要度により優先度を設定します。

5. 短期修繕計画

本計画は短期として令和3年度から12年間を計画期間とし、定期的なレビューを行います。

短期修繕計画

橋名	諸元			点検履歴	橋梁毎の健全度	対策費用 (千円)	対 策 年 度 （●：修 繕，▲：補 修 設 計，◆：橋 梁 点 検）											
	橋長 m	幅員 m	架設 年				2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030		
							R03	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12		
空増橋	2.1	5.0	不明	R5	Ⅲ	6,800		▲	◆	●				◆				
上原橋	6.1	9.4	不明	R5	Ⅲ	24,600		▲	◆		●			◆				
第二天神橋	3.1	4.6	不明	R5	Ⅲ	8,500			◆			▲	●	◆				
直橋	3.2	6.0	不明	R5	Ⅱ	9,900			◆			▲	●	◆				
にしき橋	5.9	9.7	1994	R5	Ⅱ	8,400			◆					◆	▲	●		
めがね橋	5.0	7.4	1994	R5	Ⅱ	7,100			◆					◆	▲	●		
馬流川橋1号	6.3	5.6	不明	R5	Ⅱ	7,700			◆					◆	▲	●		
白川橋3号	2.4	8.2	不明	R5	Ⅱ	5,800			◆					◆	▲	●		
早町橋	3.2	7.4	不明	R5	Ⅱ	11,500			◆					◆	▲	●		
濱田橋	4.9	2.7	不明	R5	Ⅱ	5,000			◆					◆	▲	●		
赤増橋	2.5	6.0	不明	R5	Ⅱ	4,400			◆					◆	▲	●		
第二羽里橋	3.6	4.0	不明	R5	Ⅱ	5,400			◆					◆	▲	●		
池治橋1号	4.0	4.6	不明	R5	Ⅱ	4,300			◆					◆	▲	●		
木名橋	2.2	4.6	不明	R5	Ⅱ	4,000			◆					◆	▲	●		
中里橋	2.2	5.0	不明	R5	Ⅱ	4,900			◆					◆	▲	●		
平橋	5.4	3.2	不明	R5	Ⅱ	5,200			◆					◆	▲	●		
鶴女橋	2.3	6.0	不明	R5	Ⅱ	4,200			◆					◆	▲	●		
秋田橋	3.1	9.0	不明	R5	Ⅰ	800			◆					◆				
第一大朝戸橋	2.8	6.1	不明	R5	Ⅰ	800			◆					◆				
第二大朝戸橋	2.4	6.9	2017	R5	Ⅰ	800			◆					◆				
坂元橋	3.3	6.5	2014	R5	Ⅰ	800			◆					◆				
羽里橋	4.2	4.0	不明	R5	Ⅰ	800			◆					◆				
平田橋	2.8	4.3	不明	R5	Ⅱ	800			◆					◆				
味意橋	2.2	5.2	不明	R5	Ⅰ	800			◆					◆				
第一天神橋	4.2	5.5	不明	R5	Ⅰ	800			◆					◆				
馬流川橋2号	3.7	6.8	不明	R5	Ⅰ	800			◆					◆				

注) 対策費用は、過去の実績を基に算出したものであり、実際にかかる費用を特定したものではありません。

6. 費用縮減に関する方針

点検、補修設計及び修繕等においては、判定区分Ⅱ及びⅢの橋梁15橋を対象に新工法や新材料などの新技術等を加えた比較検討などを実施することにより、令和12年度までに2百万円程度縮減することを目標とします。

また、社会経済情勢や施設の利用状況等の変化に応じた、施設の集約化・撤去についても、迂回路が存在し集約が可能な橋梁を対象に、周辺住民の要望などを考慮して、令和12年度までに1橋について集約化・撤去を検討することで、定期点検及び修繕費用の約百万円のコスト縮減を目指します。